

# 平成22年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	住宅改造成業				開始年度	H12		
基本目標	介護保険による福祉サービスの充実				終了年度			
担当課(局)	健康福祉課	担当係	介護高齢者福祉係	記入者	浜野智子		評価者	井上敏郎
21年度決算	630	千円	22年度予算	630	千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	729 千円		22年度人件費	723 千円		事業従事者数	0.10 人	0.10 人

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	介護者の経済的負担軽減
事業の内容	町内に住所を有し、要介護認定等に係る介護認定審査会による審査及び判定の基準に関する省令第1条または第2条に該当するもので、生計の中心となる者の前年所得課税年額が140,000円以下の対象者の住宅改造成業に係る経費の助成

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 助成対象者(数)	在宅で安全な生活が続けられるよう支援し、介護者の肉体的、精神的負担の軽減。
	2 助成金額	介護者の経済的負担を軽減するとともに高齢者の自立した生活の維持・促進を図る。
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 介護相談への対応支 援	ケアマネージャー・包括支援センター等関係機関へ周知を図っている
	2	
	3	

## ◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	助成対象者(数)	目標値	1	1	1	
		実績値	0	1		
		達成率	0.0%	100.0%		
	助成金額	目標値	円	630,000	630,000	
		実績値		0	630,000	
		達成率	%	0.0%	100.0%	
	0					
活動指標	介護相談への対応支 援	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
		0				
		0				
		0				

## ◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	主に介護保険の住宅改修の範囲を超えるケースを対象としており、対象者の金銭的、精神的負担軽減を目的としているため、事業廃止の影響は大きい。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	住宅改修後は在宅での継続した自立支援につながるとともに、外出機会の増加等、事業効果は大きい。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	介護保険の住宅改修は概ね範囲内(200,000円)で完了しているため、削減の余地はある。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	

事務事業名	住宅改造助成事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	----------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	申請件数は毎年少ないものの、自立支援と介護者の経済的負担軽減を図るために、制度維持は必要である。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充			
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎事業としては必要性を感じるが、採択条件が厳しいのか、利用者が1人というのが気になる。 ◎県の補助がある期間は現状維持と考える。
	コスト	現状維持	